

「資料編」

目 次

1. バス路線の現状.....	1
1.1. 市街化調整区域への乗入状況.....	1
1.2. 交通弱者に対応する路線の状況.....	5
1.2.1. 高校生に対応したバス路線.....	5
1.2.2. 高校生アンケート調査結果.....	6
1.2.3. 高齢者に対応したバス路線.....	10
1.3. バス路線の重複状況.....	11

路線例 【東61(北海道中央バス(旧市営))】
(東保健センター～環状通東駅～丘珠～中沼小学校通)

<沿道状況>

- ・地下鉄駅と飛び地となっている市街化区域(北丘珠、中沼西)間を運行し、終点は中沼団地に位置する。
- ・市街化調整区域区間は沿道に住宅が点在し、「丘珠小学校前」バス停付近には、住宅がまとまりをなして立地している

<バス利用状況>

- ・市街化調整区域区間のバス停における乗車人員が非常に少ない
- ・市街化調整区域内ではあるが、上述の「丘珠小学校前」バス停や、中沼団地に位置する「中沼小学校通」での乗車人員は比較的多い。
- ・地下鉄駅に次いで乗降人員が多いのは「丘珠高校前」で、通学利用の多い路線であることを示している。
- ・路線末端(中野～中沼小学校通)は1便あたり乗車人員が5人程度と少ない。



	東保健センター	東区役所前	北15東9	環状通東駅前	北18東17	北19東20	開成高校前	北24東21	北34東26	北36東27	丘珠神社前	丘珠中央	丘珠小学校前	中沼通	丘珠中学校前	丘珠高校前	丘珠鉄工団地前	モエレ団地前	中野	水揚場	中沼小学校前	中沼小学校通	
停留所間乗車人員	1,284	38	107	125	864	908	893	891	980	971	926	925	923	898	903	894	491	412	320	284	277	209	0
各停留所乗降人員	38	69	18	759	56	55	54	169	39	73	7	2	45	27	73	455	91	208	40	7	74	209	
停留所間間隔km	9.3	0.3	0.5	0.6	0.6	0.4	0.3	0.3	0.6	0.4	0.4	0.5	0.3	0.3	0.6	0.4	0.5	0.4	0.3	0.5	0.5	0.6	0
便数		15	15	15	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59
営業キロ	487.1	4.5	7.5	9	35.4	23.6	17.7	17.7	35.4	23.6	23.6	29.5	17.7	17.7	35.4	23.6	29.5	23.6	17.7	29.5	29.5	35.4	0
営業キロあたり乗車人員	2.6	8.4	14.3	13.9	24.4	38.5	50.5	50.3	27.7	41.1	39.2	31.4	52.1	50.7	25.5	37.9	16.6	17.5	18.1	9.6	9.4	5.9	
1便あたり乗車人員		2.5	7.1	8.3	14.6	15.4	15.1	15.1	16.6	16.5	15.7	15.7	15.6	15.2	15.3		8.3	7.0	5.4	4.8	4.7		0.0
他路線	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	●: 地下鉄駅勢圏内 ○: 他の路線あり △: 他の路線のバス停圏内 ×: 当該路線のみ																						
沿線状況	市街化区域											市街化調整区域				市街化区域		市街化調整区域					
備考		区役所		乗換?					西友		勤医協病院						丘珠高校	モエレ団地				中沼団地	

路線例 【東79（北海道中央バス（旧市営））
（環状通東駅～丘珠空港通～豊畑～中沼小学校通）

< 沿道状況 >

- ・地下鉄駅と中沼団地を結ぶ。
- ・「北37東27」付近は、道路の片側が市街化調整区域となっている。
- ・市街化調整区域区間は沿道に住宅が点在し、終点の「中沼小学校通」バス停は、中沼団地に位置する。

< バス利用状況 >

- ・市街化調整区域調整区域内のバス停における乗車人員が非常に少ない
- ・市街化調整区域内ではあるが、中沼団地に位置する「中沼小学校通」の乗車人員は比較的多い。
- ・路線末端区間（豊畑～中沼小学校通）は1便あたり乗車人員が3人以下と非常に少ない。
- ・道路の片側が市街化調整区域となっている停留所（北36東27～北37東29）の乗車人員はその他の市街化区域と比べ少ない。
- ・「環状通東駅前」以外では、東陵高校近傍の「伏古13条5」、大型スーパー近傍の「伏古13条3」での乗降人員が比較的多い。通学、買い物での利用が多いと推察される。



	環状通東駅前	北18東17	北19東20	開成高校前	北24東21	北34東26	北36東27	北37東27	北37東28	北37東29	伏古13条3	伏古13条5	東苗穂8条3	東苗穂10条3	東苗穂11条3	東苗穂12条3	東苗穂13条3	東苗穂14条3	豊畑	モエレ公園東口	中沼中央	沼の端	中沼団地前	中沼小学校通	
停留所間乗車人員	1,117	930	945	914	929	933	916	896	882	858	822	673	559	480	415	342	262	185	117	108	99	94	81	58	0
各停留所乗降人員		930	25	39	47	70	31	26	26	34	44	183	128	95	79	91	90	93	70	11	11	13	15	25	58
停留所間間隔km	8.4	0.4	0.5	0.3	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.3	0.3	0.35	0.3	0.2	0.3	0.25	0.6	0.4	0.4	0.3	0.4	0.5
便数		47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	34	34	34	34	34
営業キロ	411.1	18.8	23.5	14.1	23.5	18.8	23.5	18.8	18.8	18.8	23.5	14.1	14.1	16.5	14.1	9.4	14.1	11.8	28.2	13.6	13.6	10.2	13.6	17.0	
営業キロあたり乗車人員	2.7	49.5	40.2	64.8	39.5	49.6	39.0	47.7	46.9	45.6	43.7	28.6	39.6	34.0	25.2	24.3	27.9	13.1	10.0	3.8	7.3	6.9	7.9	4.3	0.0
1便あたり乗車人員		19.8	20.1	19.4	19.8	19.9	19.5	19.1	18.8	18.3	17.5	14.3	11.9	10.2	8.8	7.3	5.6	3.9	2.5	2.3	2.9	2.8	2.4	1.7	0.0
他路線		●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		●：地下鉄駅勢圏内 ○：他の路線あり △：他の路線のバス停圏内 ×：当該路線のみ																							
沿線状況		市街化区域																		市街化調整区域					
備考									西友																中沼団地

1.2. 交通弱者に対応する路線の状況

1.2.1. 高校生に対応したバス路線

(1) 高校の立地状況とバス路線

市内の高校の多くは、地下鉄・JR駅から離れた場所に立地しており、これら高校へ通学するための公共交通機関は、実質的にバスのみとなっている。

駅徒歩圏外に立地する高校へ接続するバス路線を抽出すると下図のとおりになる。

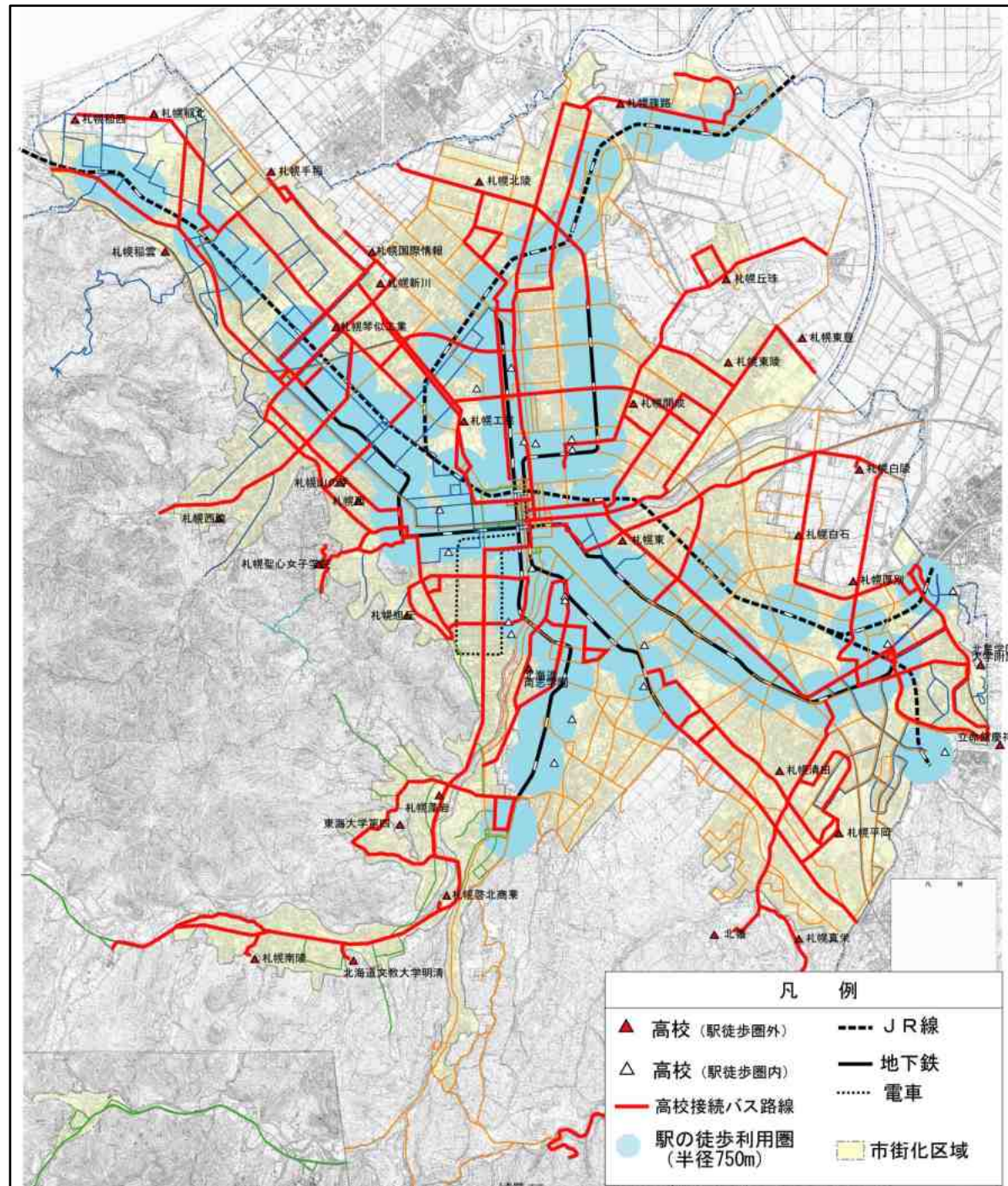


図 1.2-1 高等学校の位置と接続バス路線の現状

(2) バスによる登下校の状況

【事例1：一般便の通学利用・札幌丘珠高校と「東61丘珠線」】

平成12年9月乗客利用実態調査結果より（注：当時市営バス路線）

郊外立地の札幌丘珠高校に接続する旧市営バス「東61」では、起点方向の乗車人員614人のうち、約1/3の202人が丘珠高校前で乗車する。年齢別時間帯別乗客構成グラフと併せると、この路線は丘珠高校への通学利用が多い路線と考えられる。

ダイヤの面からも、郊外へ向かう路線にも関わらず通学時間帯である7時～8時台に計6便が設定されており、通学需要対応と考えられる。

なお、当該区間には、他に北34条駅・新道東駅に接続する東76が運行されており、起点方向乗車人員1,299名のうち、約1/5の263人が丘珠高校前で乗車する。

【札幌丘珠高校】
 全校生徒 約1,000人 石狩第2学区（東区）

【東61丘珠線】
 東保健センター ~ 中沼小学校通
 環状通東駅前
 往路29便、復路30便（平日）
 終点方向の朝・タラッシュ時は全て環状通東発
 なお、便数は現在の時刻表に基づく。
 1日あたり乗車人員 1,284人（平成12年度調査）

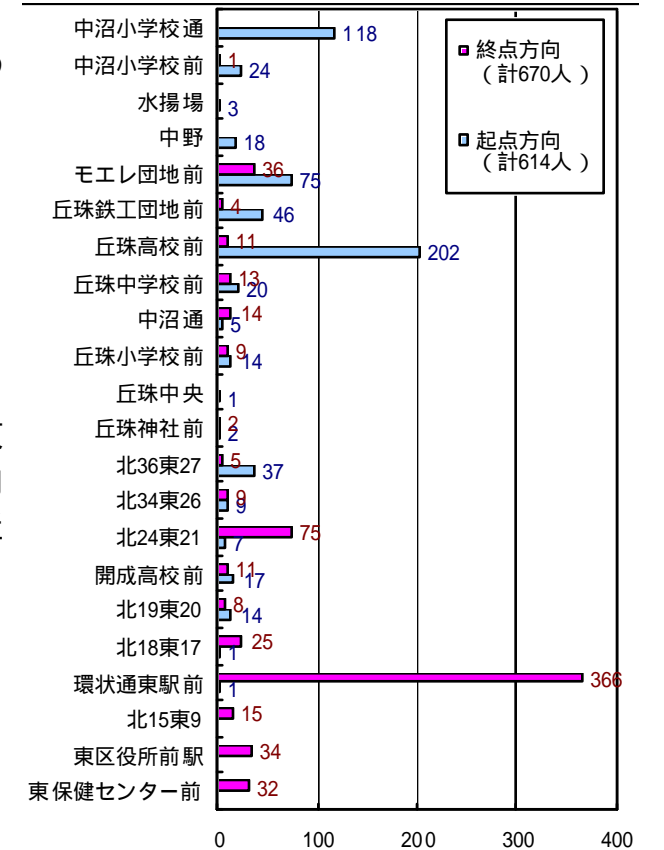


図 1.2-2 バス停別乗車人員

時刻	乗車人員
6:43	1
7:14 37 58	1
8:07 12 34	1
9:09	1
10:10	1
11:40	1
12:36	1
13:32 55	1
14:52	1
15:38	1
16:05	1
17:03	1
18:58	1
19:45	1
20:50	1
21:50	1
22:00	1

図 1.2-3 バス時刻表（環状通東駅発）

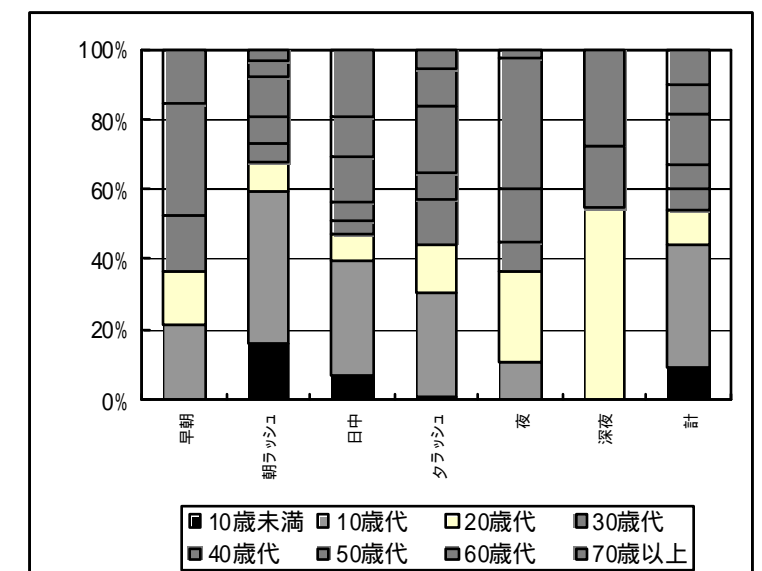


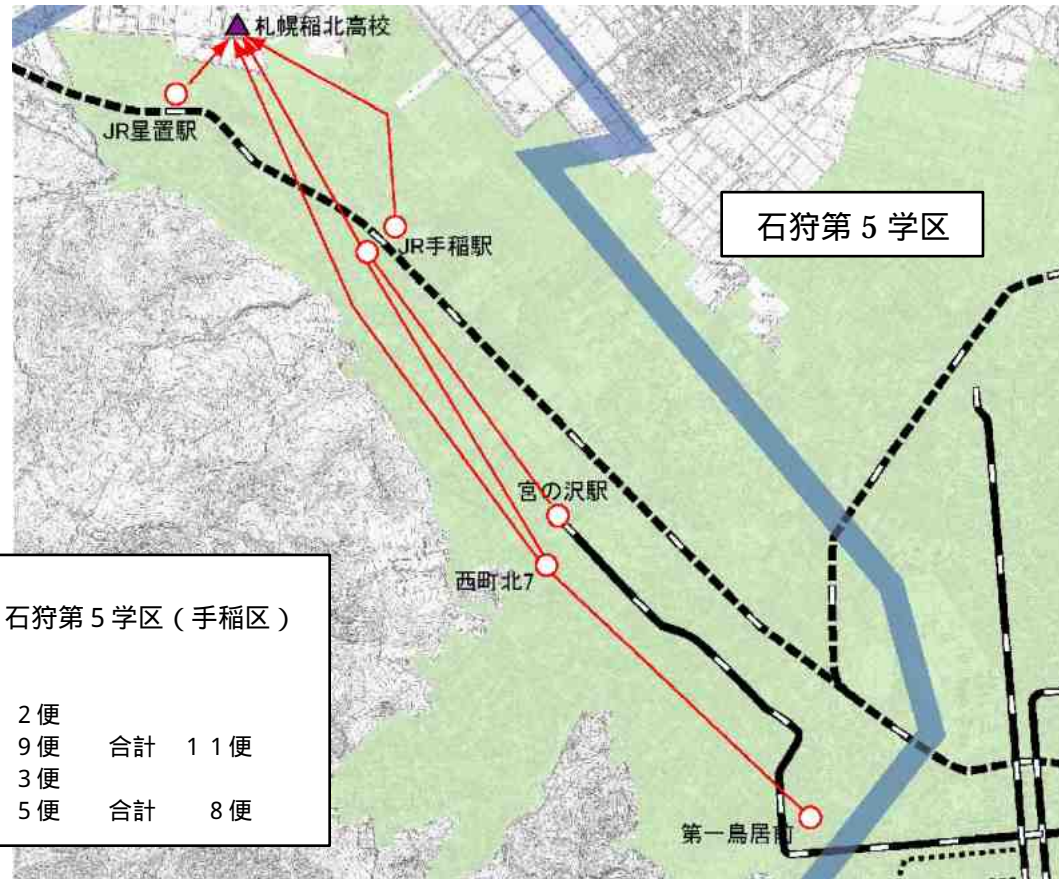
図 1.2-4 年齢別時間帯別乗客構成

【事例2：通学専用便による対応・稲北高校】

札幌市手稲区の市街化調整区域に立地する札幌稲北高校の場合、高校周辺にはまとまった集落が無いことから、一般便の運行本数が少なく、登下校の需要に対応できない。

このため、4パターンの通学専用便により登下校の足を確保している。

これら通学専用便は、事業計画上一般便のバリエーションとして運行しており、名称どおりの通学専用便ではない。



【札幌稲北高校】
 全校生徒 約 1,000 人 石狩第5学区（手稲区）

【一般便（4系統）】
 往路：手稲駅 稲北高校 2便
 宮の沢駅 稲北高校 9便 合計 11便
 復路：稲北高校 手稲駅 3便
 稲北高校 宮の沢駅 5便 合計 8便

登校	通学専用	通学専用	通学専用	一般	一般	通学専用	通学専用	一般	一般
第一島居前			7:30						
西町北7		7:33	7:40						
宮の沢駅					7:40			8:05	
手稲駅	7:45	7:51		7:55	7:59	8:00		8:24	8:25
星置駅								8:05	
稲北高校	7:58	8:06	8:08	8:08	8:10	8:13	8:15	8:35	8:34
						3台	2台		

下校	通学専用	通学専用	通学専用	通学専用	一般	通学専用	一般	一般	一般	一般	通学専用
稲北高校	15:30	15:35	15:40	15:40	15:40	15:45	15:58	16:15	17:18	18:40	18:45
星置駅			15:50								18:55
手稲駅	15:43	15:48		15:53	15:52	15:58	16:12	16:33	17:32	18:52	
宮の沢駅					16:09			16:45		19:10	
西町北7											
第一島居前											
	2台	1台	1台	1台		2台					1台

図 1.2-5 札幌稲北高等学校の登下校時バス運行状況

1.2.2. 高校生アンケート調査結果

調査対象高校の概要

- 1) 札幌開成高校
 回答者 1～2年生 160名
 （普通科3クラス×40名，コズモサイエンス科1クラス×40名）
 通学区域 普通科：石狩第3学区（札幌市のうち東区）
 コズモサイエンス科：札幌市内全域
- 2) 新川高校
 回答者 1～2年生 153名
 （普通科4クラス×40名 うち欠席者7名）
 通学区域 石狩第4学区（札幌市のうち北区並びに石狩市、当別町、新篠津村及び厚田村の地域）
 石狩第5学区（札幌市のうち中央区の一部、西区、手稲区）

回答者の居住地

いずれの高校とも高校が立地する区に居住する者が多い。
 札幌開成高校は、東区+北区で、札幌新川高校は、北区+西区+手稲区で全体の8割を占めている。

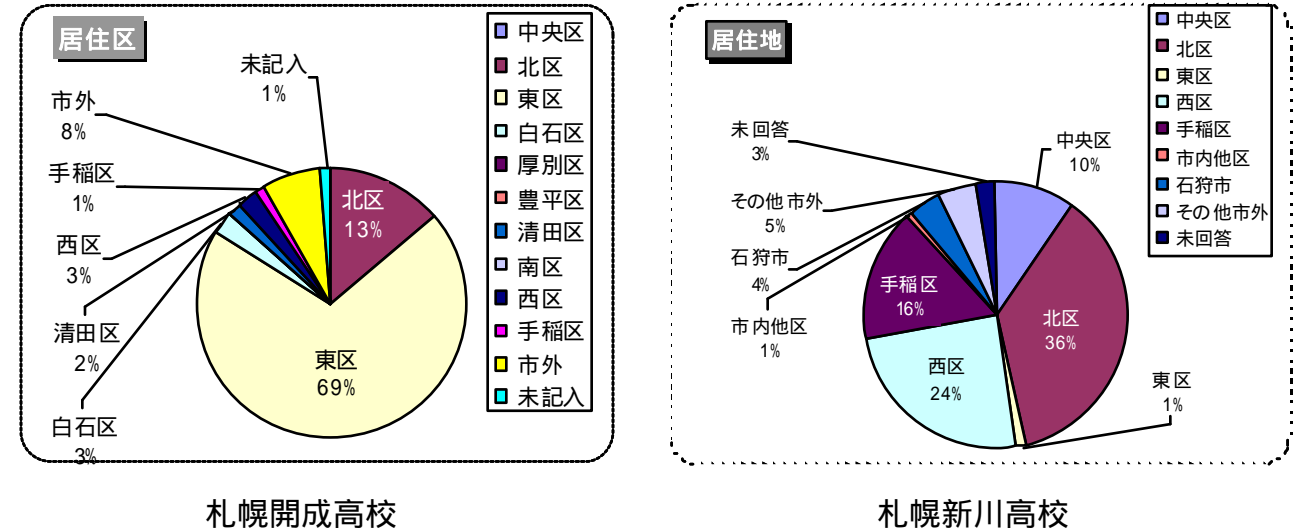


図 1.2-6 回答者の居住地